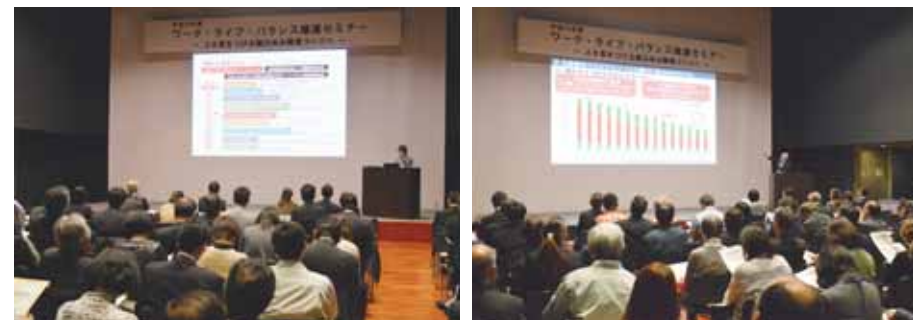


大船渡市での取り組み

平成29年11月、リアスホールで、「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー（人を惹きつける魅力ある職場づくりへ）」を開催しました。セミナーには、市内企業の事業主や労働者など約150人が参加し、戸田市長による市の施策の説明、岩手労働局による働き方改革に関する講演や市内2事業所における職場づくりの好事例発表が行われました。気仙管内では、有効求人倍率が1倍を超える高水準が続く、多くの産業分野で労働力不足が深刻化しています。



べきか、地域が一体となって考えていくことが重要です。

ワーク・ライフ・バランス推進セミナー開催

「仕事」と「生活」の調和

ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けて

▽問い合わせ先〓商工課労政係（☎内線111）

市では、ワーク・ライフ・バランスを推進するために、さまざまな取り組みを行っています。本号では、市が行っている取り組みや関係法令などを紹介します。



両立が大切

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは？働く全ての皆さんが、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、教養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和を図り、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。

なぜ今仕事と生活の調和なのか？

現実の社会では、「安定した仕事に就けず、経済的に自立できない」「仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない」「仕事と、子育てや親の介護との両立が難しい」などの理由で、多くの人がワーク・ライフ・バランスを実現できていません。仕事と生活の調和の実現は、皆さん一人一人が望む生き方ができる社会の実現にとって必要不可欠です。皆さんも自らの仕事と生活の調和の在り方を考えてみませんか。

ワーク・ライフ・バランスが実現された社会の姿

さまざまなライフスタイルや、子育て期、親の介護などを行う中高年期といった人生

の各段階におけるニーズに合わせて、多様な働き方・生き方を選べる「ワーク・ライフ・バランス」社会の実現に向けて、国や地方公共団体、企業、働く人が一体となって取り組むため、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」と「仕事と生活の調和のための行動指針」が、平成19年に策定されています。ここでは、目指すべき社会（ワーク・ライフ・バランスが実現された社会）の姿として、左図のことを掲げています。

ワーク・ライフ・バランスが実現された社会

国民一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会

- (1) 就労による経済的自立が可能な社会
- (2) 健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
- (3) 多様な働き方・生き方が選択できる社会

ワーク・ライフ・バランス実現プロジェクト

市では、「大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標の一つ「大船渡で安心して家庭を築き、子どもを産み育てられるようにする」の中に、ワーク・ライフ・バランス実現促進プロジェクトを掲げています。市内事業所に対し、育児休業の実施をはじめ、男女共同参画への積極的な取り組みを促進するとともに、テレワークなどの新しい働き方の普及啓発に努めています。

大船渡市長のイクボス宣言

平成29年3月に戸田市長が「イクボス宣言」を行いました。イクボス宣言とは、部下の育児、介護、ワーク・ライフ・バランスに理解のある上司である旨の宣言を行うことです。NPO法人ファザーリング・ジャパンが進めているプロジェクトであり、厚生労働大臣をはじめ、さまざまな自治体・企業が宣言を行っています。

■戸田市長の「イクボス宣言」の内容

私は、ワーク・ライフ・

バランスを推進することが、健康で豊かな生活の基礎となり、生きがい・働きがいの意識を高め、個人の能力や組織力の向上につながることから、自らが「イクボス」となり、次の事項に取り組むことを宣言します。

一 私は、「働き方改革」を推進し、業務の効率化や

組織力の向上を図り、市民サービスの向上に取り組みます。

一 私は、男女ともに、各々が持てる力を存分に発揮し、自らの希望に応じて活躍できるよう、また、誰もが育児や介護、地域活動等に積極的に参加できるように、全市民的な機運の醸成に取り組みます。

一 私は、市内の企業や団体に「イクボス」を増やし、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得を促進するなど、市民が生きがいや満ち足りた心の豊かさを実感できるまちづくりに取り組みます。

一 私は、「大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦

■市役所職員に向けた戸田市長の「イクボス宣言」

我々は、部下の育児・介護・WLBを応援するため、以下の事項を約束します。

1. 私は、仕事を効率的に終わらせ早く帰る部下を評価します。
2. 私は、土日、定時に降には、仕事の依頼をしません。（できるだけ）
3. 私は無駄に残らず、率先して早く帰ります。
4. 「え、男なのに育児？」などとは絶対に思いません。
5. 私は、部下のどんな相談にも応じます。
6. 20代、30代の職員は特に早く帰させます！（家庭があれば家族サービス、未婚なら飲み会などで交流を深めてもらいたい！）

※WLBはワーク・ライフ・バランスの略